

解説

中学校 3 年国語

指導案タイトル：防災小説

授業者：渡邊光輝 教諭

解説タイトル：生成 AI をアドバイザーとした防災小説による
創造的思考力の育成

コンピテンシー育成開発研究所 特任教諭

下島泰子

本実践は「自分が災害に遭遇した状況を想定し、自分を主人公として生還する『防災小説』を創る。」という創造的活動の創作表現である。国語と総合的な学習の時間との教科横断的学びで実社会・実生活とつながり、創造的思考力の育成を目指すものである。総合的な学習の時間と連携し、岩手県釜石市を実際に訪れ被災地の様子を実際に見聞し、同市の「いのちをつなぐ未来館」で実際の「防災小説」に触れることや、東京の防災体験学習施設「そなエリア東京」で学習をすることが単元に含まれている。

「創造的思考力を引き出す授業の仕掛け」としては ICT の活用がある。生徒が作成した構想メモをデジタル化して共有して、生徒同士が読みあえるようにした。渡邊教諭自身が作成した生成 AI の活用が画期的である。生成 AI の GPTs に大都市の震災や防災情報などを読み込ませ、「防災小説」を作成するために生徒の質問に答え、小説づくりのアドバイザーとして活用したことが挙げられる。さらに、この実践は小説の構想がある程度固まってからグループで相談会を行い、級友や生成 AI のアドバイスを受けてから推敲し、仕上げていくことから、協働力や批判的思考力の育成も見込まれる。